

平成30年度 グランドデザイン反省 2学期

	努力目標	努力事項	評価4		反省（評価にいたった理由）
			1学期	2学期	
すすんで学習する子どもの育成	学力の向上を図る。	・基礎・基本の確実な定着	2.7	2.8	<ul style="list-style-type: none"> ・計算はどの児童もできるようになったが、漢字が全く掛けない児童が2名いる。 ・2学期になり、学習の習慣や授業の取組方が身につけてきて、基礎的学習内容の9割近くを理解することができた。 ・朝の学習や家庭学習で基本的な内容を繰り返し復習してきた。 ・学習によっては、授業の初めの時間に既習（前時）事項の内容の復習や確認の場を設け、学習のつながりを意識して授業を行ってきた。その結果、定着、理解がより図られた。
		・補充・発展の場と時間の工夫	2.4	△2.8	<ul style="list-style-type: none"> ・支援員に入ってもらったり、個別に指導に当たったりと、補充の方を強化してきた。 ・補充発展の時間の工夫では、習熟度別に問題を作成し、すべての児童が待っている時間がないよう工夫した。 ・個別に支援が必要な児童を絞り、授業では支援員さんに支援してもらったり、休み時間を利用して個別指導を行った。 ・上位児童に対しては、発展問題を準備した。しかし、下位の児童への個別での指導、補充が充分行き届かなかった ・基礎基本を身につけるため補充を重点的に行ったため、発展的な学習の場が少なかった。
		◎言語活動の充実（書く・伝え合う力）	2.9	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ・週2回の作文、毎日のスピーチで伝える活動を多く取り入れてきた。 ・自分の考えを持たせることが下位児童には難しく、手立ての必要を感じた。 ・「伝え合い」「教え合い」の形に積極的に取り組んだ。 ・ペア・グループ活動を多く取り入れ、少人数の中で話せる子が増えた。 ・言語活動の充実に向けて、言葉のつかい方、語らいを豊かにしたい。 ・自分の考えを伝える時間を多く確保してきたことにより、学習により積極的に取り組めるようになった。 ・目的を持たせた上で言語活動を位置づけてきた。調べたことを子ども達なりに伝えようとしてしっかり頑張れた。話し合う力が伸びてきた。 ・各教科内で、意識して取り組んできたが、学年相応の力や相手意識という点でまだ十分とは言えない。 ・書くことそのものを嫌がる子が多いが、少しずつはかける量が増えている。
		・「生きる力」を育む総合学習の充実	2.5	△3.4	<ul style="list-style-type: none"> ・総合学習では、子ども達が自主的に活動していた。 ・学年の先生方と相談し、子ども達に活動の進め方を考えさせる時間をもたせ、「自分たちで考え、実行した」という思いをもたせることを大切に指導してきた。 ・総合学習では、交流学級の児童との関わりと通して、自ら進んで学習し、思考力、判断力を高める活動を行うことができた。 ・話を聞こうとする意識は高まっているが、理解して自分なりにまとめて言い換えられるまでにはなっていない。 ・目的は何か、そのために何をすれば良いかなど、児童にも考えさせ取り組んだ。
		・学力テストの結果分析に基づいた授業改善	2.5	△2.9	
		・研修テーマに沿った授業の構築	2.7	3.0	
		◎学習規律の維持、徹底「授業の5つの約束」	2.9	3.1	<ul style="list-style-type: none"> ・返事、話の聞き方、話し方、板書の仕方など学習規律がしっかりと身についた。
	学びの基盤づくりを強化す	・家庭学習の充実	2.9	3.1	

	る。	・朝の学習タイムの工夫	3.1	△3.5	
	読書活動を推進する。	・図書室の積極的利用	2.9	▼2.8	<ul style="list-style-type: none"> ・外遊びをする児童が多く、図書室の利用を少なかった。(朝は支度が遅くて利用できない。)) ・国語の時間と関連させて図書室を効果的に活用できた。 ・秋の読書月間に受けて意欲を高められた。 ・一斉読書が徹底できている。 ・家庭学習での10分読書が習慣化した。借りる本のジャンルを指定して幅広く読書に親しめるようにした。興味を広げるための幅広い本紹介があるとよい。 ・クラスでも読書の足跡を記入、ページ数で賞状読書郵便に喜んで取り組んでいた。
		◎読書ボランティアと連携	2.5	△2.9	
		・全校一斉朝の読書(水、金)の実施	3.5	3.5	
		・読書習慣の形成(読書賞、読書月間、読書郵便)	3.0	3.2	
心豊かな子どもの育成	教育環境・体験を充実させる。	・ことばを大切にされた指導	2.9	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期に比べ、あいさつができるようになってきた。 ・1年生という発達段階もあり、まだ自己中心的行動が見られる。規範意識をより持てるように指導していきたい。 ・毎日いろいろなことがあり、その中で一人一人の友達に対する見方・考え方を子ども達と共に話し合いながら、よりよい方向を探し、考え進めることができた。 ・あいさつ習慣を実施したことによりさらに意識づけが図られた。 ・気持ちのよいあいさつの具体例を示し、できていたか自己評価する場を設けてきた。個人差があるため十分ではなかった。 ・感謝の気持ちを伝えるという意識を育て、「ありがとうございました」というあいさつは自信を持って届けられた。 ・あいさつは声をかけ続けないと小さな声になってしまう。 ・2年生との交流学习や3年生と交流学习ができた。 ・1,2年の交流ができた。(音読劇、フェスティバル) ・6年生とは委員会、陸上、二小遊び隊。4年とは鼓笛で交流でき、はりきってやっている。 ・6年生との二小遊び隊計画、実施。4年生との鼓笛。清掃活動 ・学級の整理整頓はこまめに行うよう指導していきたい。 ・自分のロッカー、お道具箱がきちんと整理できなかった。 ・忙しくなると、整理整頓まで教師も児童も手が届かなくなるので注意したい。
		◎規範意識の育成(あいさつ・よい子のやくそく)	2.8	2.9	
		・異学年交流の促進	2.7	△3.1	
		・校舎内外の整理整頓・環境整備	2.9	3.1	
		道徳教育を充実させる。	・道徳の時間を核とした教育活動全体での道徳教育の推進	2.9	3.1
	・人権教育の推進	2.9	△3.3		
	◎お互いが尊重し合える集団作り	2.9	3.1		

やる気をもってがんばる子どもの育成	自 主 性・責 任 感 の 育 成 を 図 る。	◎児童が主役となる学級活動の充実	2.6	△3.0	<ul style="list-style-type: none"> ・すこやかタイムで児童中心に遊びを進められるようになった。 ・中間反省をしたり、活動の時間を設定したりして、どの子も自分で考えながら取り組めるようになってきた。 ・学級のために自主的に清掃、片付け、給食係に取り組んでいる。学級集会などをさらに充実させたい。 ・すこやかタイムの計画 ・2学期は、より主体的に活動している姿が増えた。 ・自主的な活動が増えてきた。 ・当番や係活動など自信を持って取り組んでいる ・児童会では様々な活動に取り組んでいる姿が見受けられ非常に充実していると感じる。 ・互いに声をかけ合ったり、他の係同士も協力したりして進んで取り組めた。 ・二小遊び隊でのゴミ拾いの姿を見て意識が育ってきた。 ・学級の中では友達のため、クラスのために進んで奉仕する姿も見られるが、そこから学級、家庭へと広げていきたい。 ・児童のアンケート結果の低さからもボランティア活動を位置づけた方がよいのか？ ・6年生を見習って朝ボランティアで掃除をする子が出てきた。 ・ちょっとボランティアの実施 ・落ち葉はき、朝ボラががんばっていた。 ・学級清掃が上手になってきた。 ・清掃活動に一生懸命取り組めるようになってきた。
		・児童会、係活動の充実	3.1	3.3	
		・発達段階に応じた奉仕・ボランティア活動の充実	2.4	△2.8	
		・清掃活動の充実	2.9	3.2	
体をきたえる子どもの育成	体力の向上を図る	・体育の学習の充実	3.0	△3.5	<ul style="list-style-type: none"> ・運動量は確保するように努めた。 ・学習カードの活用や自己目標を設定して取り組むなどの活動を通して、一人一人が楽しく学習に取り組み、力をつけることができた。 ・人数が多いため運動量の確保が課題である。
		◎運動身体づくりプログラムの活用と見直し	2.9	△3.5	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の導入時に常に取り入れている。 ・運動身体作りプログラムを継続的に活用したので、身体能力の向上が見られた。 ・全校生でのランランタイム、ルンルンタイムによって、児童の体力が向上しているように思う。 ・本時に必要な動きを重点的に取り組ませ、本時の運動につなげるようにした。 ・毎時間プログラムを活用してきた。体力テストで落ち込んでいたボール投げを重点的に行った。 ・子供が自主的にできるプログラムを作成した。 ・肥満傾向の児童も数値的には低くなっている。 ・1学期と比べて、休み時間、すこやかタイムの転倒によるけがが減少している。 ・基礎の運動を繰り返し、体がしっかりしてきた。遊具遊びの期間を長く取ったので、少しずつ慣れてきた。
		・体力テストの結果に基づいた授業の展開	2.5	△3.1	
	健康教 育層を 充実さ せる。	・家庭と連携した疾病等への共通理解と適切な対応	2.7	△3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・虫歯の治療への意識が低い。 ・かぜ引き等の欠席が目立ち、健康面、生活面での指導が多かった。家庭との連携も行っているがこれ以上は難しい。 ・むし歯の治療、眼科への治療勧告 ・寝るのが遅い子が多くなってきている。今後も引き続き指導していきたい。
		◎薬物、性、新たな感染症、生活習慣病などに対応する指導の充実	2.6	2.9	<ul style="list-style-type: none"> ・夜遅くまでゲームやインターネット動画の視聴をしている実態が明らかになった。今後家庭との連携を深めながら指導していきたい。
	基本的生活習慣を育成する	・「早寝・早起き・朝ごはん」の奨励	2.9	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・朝ごはん調べの実施 ・保健の学習でも取り上げ、健康な生活を意識できるようにした。 ・清潔検査で取り上げ、意識を高めてきた。
		・家庭との連携を図った食育指導の推進	2.4	△2.8	<ul style="list-style-type: none"> ・自分カードの利用 ・偏食の児童の改善は難しい。 ・養護教諭や二中栄養教諭に協力していただいて授業を行ったり、保護者に食育のコンクール関係にアイデアを出してもらったりして取り組んだ。 ・栄養教諭、板橋先生とITで授業を行い指導してきた。歯科医とも授業を行った。 ・健康手帳の活用を図った。 ・家庭と連絡を取りながら食育指導をした。 ・栄養教諭を活用しての食育指導、健康相談を実施した。